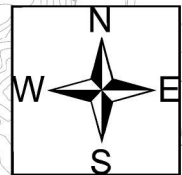


喜多方市 喜多方処理区 雨水出水浸水想定区域図
(水防法第14条の2に基づく浸水想定区域図)



■目的
喜多方市では、近年の気候変動に対応し、非常に激しい雨が降った場合にどこが浸水するのかを把握するため、シミュレーションを行いました。この図はその結果をもとに、想定される浸水の範囲と深さを示したものです。

■想定条件と注意点

- 1時間に130mmという非常に激しい雨を想定しています。
- 図中の色付きの区域は、その雨量で浸水が想定される場所を表し、色の違いで水深の深さを示しています。
- 色がない場所は、計算上浸水しないとされた区域ですが、実際の雨の降り方や地形条件により浸水する可能性もあります。
このシミュレーションでは、下水や側溝から水があふれる「内水氾濫」を対象としています。
一方で、河川の氾濫（越水・決壊）や130mmを超える雨量は含まれていません。
排水先となる川の水位は、想定される最高水位（堤防など）に設定して計算しています。

■避難行動の参考として

- 図に示された情報は、災害時の避難の判断材料として活用できます。
- 避難のタイミングは、住まいの場所やご家庭の状況によって異なります。
- 日頃から地域の状況を確認し、早めの避難判断を心がけましょう。

■この区域図に関する情報

- 作成主体：喜多方市
- 指定年月日：令和8年10月1日
- 告示番号：喜多方市告示第 84 号
- 法令上の根拠：水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
- 対象排水区域：喜多方処理区
- 想定降雨量：1時間あたり130.0mm
- 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法
－「降雨損失・氾濫解析」のみを実施
- 河川条件（境界条件）：排水先河川の水位は想定される最高水位
- 市内を25m単位のメッシュに分けて計算しています。

※この図は、「備えるための情報」として作成されたものです。
正しく理解し、防災に役立てていただきますようお願いいたします。

凡例

浸水した場合に予想される水深

- 0.1～0.3m未満の区間
- 0.3～0.5m未満の区間
- 0.5～1.0m未満の区間
- 1.0～3.0m未満の区間
- 3.0m以上の区間

--- 対象排水区域

A1用紙 縮尺 1:12,500、A3用紙 縮尺 1:20,000

